

第48回腎癌研究会スケジュール

会場：品川インターシティホール

日時：平成29年7月8日(土) 8:30-17:05

8:30-8:35 開会挨拶 (5分)

8:35-11:15 Oral Session (160分)

Oral Session1「手術」

座長：藤井 靖久(東京医科歯科大学 泌尿器科)

※一般演題：O-1~5

Oral Session2「診断、病理」

座長：都築 豊徳(愛知医科大学 病院病理科)

※一般演題：O-6~10

Oral Session3「予後予測因子」

座長：堀江 重郎(順天堂大学 泌尿器科)

※一般演題：O-11~15

Oral Session4「効果予測因子・予後予測因子」

座長：舩森 直哉(札幌医科大学 泌尿器科)

※一般演題：O-16~20

11:15-11:45 教育講演

座長：大園 誠一郎(浜松医科大学 泌尿器科)

共催：バイエル薬品株式会社

11:45-12:30 休憩・総会 (45分)

12:30-13:40 Sponsored International Session I (70分)

Chair: Yoshihiko Tomita (Niigata University)

共催：小野薬品工業株式会社、ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

13:40-14:20 Sponsored International Session II Lecture (40分)

Chair: Hideyasu Matsuyama (Yamaguchi University)

共催：ファイザー株式会社

14:20-14:50 Sponsored International Session II Discussion (30分)

Chair: Hideyasu Matsuyama (Yamaguchi University)

14:50-15:50 休憩・Poster Session (60分)

Poster Session1「分子標的薬、予後因子」

座長：永森 聡(北海道がんセンター 泌尿器科)

※一般演題：P-1~6

Poster Session2「手術」

座長：住友 誠(愛知医科大学 泌尿器科)

※一般演題：P-7~12

Poster Session3「分子標的薬」

座長：高橋 正幸(徳島大学 泌尿器科)

※一般演題：P-13~18

Poster Session4「免疫チェックポイント阻害薬など」

座長：北村 寛(富山大学 泌尿器科)

※一般演題：P-19~24

Poster Session5「症例報告」

座長：深沢 賢(千葉県がんセンター 泌尿器科)

※一般演題：P-25~30

15:50-16:20 基調講演 (30分)

座長：江藤 正俊(九州大学 泌尿器科)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

16:20-17:00 Symposium「免疫チェックポイント阻害剤の実臨床における経験」(40分)

座長：江藤 正俊(九州大学 泌尿器科)

北野 滋久(国立がん研究センター中央病院 先端医療科)

17:00-17:05 閉会挨拶 (5分)

第48回腎癌研究会 プログラム

Oral Session1「手術」

8:35-9:15

座長：藤井 靖久（東京医科歯科大学 泌尿器科）

- O-1 当施設におけるロボット支援腎部分切除術の手術時間に影響する因子の検討
石山 亮（東京女子医科大学 泌尿器科）
- O-2 当院で施行したcT1b症例54例に対する鏡視下手術の検討
山崎 健史（大阪市立大学 泌尿器科）
- O-3 当院における腹腔鏡下腎部分切除術の術後再発に関する臨床的検討
杉山 豊（熊本大学 泌尿器科）
- O-4 腎部分切除術後の急性腎機能障害に影響を与える因子の検討
橘 秀和（東京女子医科大学 泌尿器科）
- O-5 腎腫瘍に対する腎部分切除後の高血圧発症・増悪およびそのリスク因子
井上 雅晴（東京医科歯科大学 泌尿器科）

Oral Session2「診断、病理」

9:15-9:55

座長：都築 豊徳（愛知医科大学 病院病理科）

- O-6 腎細胞癌の転移巣診断における68Ga-DOTATOC PET/CTの有用性
日紫喜 公輔（京都大学 泌尿器科）
- O-7 BHD関連腎癌の発癌機構解析
蓮見 壽史（横浜市立大学 泌尿器科）
- O-8 透析患者に発生する腎癌の2016年WHO分類に基づいた分類とAcquired-cystic disease-associated renal cell carcinoma 発生に寄与する患者背景の影響—多施設共同試験—
近藤 恒徳（東京女子医科大学東医療センター 泌尿器科）
- O-9 腎癌骨転移に対する骨修飾薬の治療効果 系統的レビュー及びメタ解析
大前 憲史（東京女子医科大学 泌尿器科）
- O-10 進行性腎細胞癌に対してmTOR阻害薬を投与した際の腎機能への影響
水野 隆一（慶應義塾大学 泌尿器科）

Oral Session3「予後予測因子」

9:55-10:35

座長：堀江 重郎（順天堂大学 泌尿器科）

- O-11 腎洞接触はT1淡明腎細胞癌の術後遠隔転移の危険因子である
泉 敬太（東京医科歯科大学 泌尿器科）
- O-12 腎細胞癌症例の再発・生存に関する予後予測因子としての高血圧、糖尿病
栗山 貴仁（帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科）
- O-13 転移性腎癌に対する分子標的薬治療の2次治療の成績
玉田 聡（大阪市立大学 泌尿器科）
- O-14 転移性腎細胞癌の予後予測モデルの精度向上に関する多施設共同研究：International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortiumリスク分類とintermediate群の細分類を併用した2段階分類法
城武 卓（埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器科）
- O-15 転移性腎細胞癌に対する分子標的薬治療における2nd lineチロシンキナーゼ阻害剤の効果予測
亭島 淳（広島大学 泌尿器科）

Oral Session4「効果予測因子・予後予測因子」

10:35-11:15

座長：舩森 直哉（札幌医科大学 泌尿器科）

- O-16 SunitinibおよびN-desethyl-sunitinibの血中濃度の測定による治療薬物モニタリングと治療効果に関する検討
沼倉 一幸（秋田大学 泌尿器科）
- O-17 スニチニブ投与症例におけるPK/PD解析
佐々 直人（名古屋大学 泌尿器科）
- O-18 腎がん治療前後の血漿中サイトカイン
山田 大介（国立国際医療研究センター病院 泌尿器科）
- O-19 下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎癌におけるBAP1の発現と予後
岡 優（虎の門病院 泌尿器科）
- O-20 新規p53下流遺伝子ISYNA1の同定と腎癌予後因子としての有用性
胡口 智之（福島県立医科大学 泌尿器科）

教育講演

11:15-11:45

座長：大園 誠一郎（浜松医科大学 泌尿器科）

共催：バイエル薬品株式会社

- E-1 チロシンカイネース阻害薬と腎障害
立神 勝則（九州大学 泌尿器科）

Sponsored International Session I

12:30-13:40

Chair : Yoshihiko Tomita (Niigata University)

共催 : 小野薬品工業株式会社、ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

S1-1 Updated systemic therapy for advanced renal cell carcinoma 2017

Hans Hammers (UT Southwestern Medical Center)

Discussants : Takahiro Osawa (Hokkaido University), Toshio Takagi (Tokyo Women's Medical University),

Yasuhiro Yamada (Kyoto Prefectural University of Medicine)

Sponsored International Session II Lecture

13:40-14:20

Chair : Hideyasu Matsuyama (Yamaguchi University)

共催 : ファイザー株式会社

S1-2 Kidney Cancer Potpourri: Personalizing management of early stage kidney cancer (lessons learned from active surveillance and biopsy) and Research Prioritization by the Kidney Cancer Research Network of Canada (KCRNC)

Michael A.S. Jewett (University of Toronto)

Sponsored International Session II Discussion

14:20-14:50

Chair : Hideyasu Matsuyama (Yamaguchi University)

Discussants : Hajime Tanaka (Tokyo Medical and Dental University), Tomohiko Hara (National Cancer Center Hospital), Toshinari Yamasaki (Kyoto University)

Poster Session1 「分子標的薬、予後因子」

14:50-15:31

座長 : 永森 聡 (北海道がんセンター 泌尿器科)

P-1 進行性腎細胞癌に対するアキシチニブを用いた術前補助療法の経験 山本 義明 (山口大学 泌尿器科)

P-2 進行性腎癌に対する1st-line治療の臨床的検討 ―スニチニブとバゾパニブの比較―

吉田 哲也 (滋賀医科大学 泌尿器科)

P-3 転移性腎癌患者における1st-line Sunitinib療法とAxitinib療法とのアウトカムの比較検討

喜早 祐介 (秋田大学 泌尿器科)

P-4 東京慈恵会医科大学附属病院および葛飾医療センター2施設における転移性腎癌に対するCytoreductive Nephrectomyの検討

阪中 啓吾 (東京慈恵会医科大学 泌尿器科)

P-5 腫瘍減量腎摘除術を施行された転移性腎癌症例における骨格筋量変化の予後的意義

福島 啓司 (がん・感染症センター 都立駒込病院 泌尿器科)

P-6 透析患者におけるN1M0, N2M0, NxM1腎癌に対して原発巣を摘除した場合、C-reactive protein高値は予後不良因子である

福田 洋典 (東京女子医科大学 泌尿器科)

Poster Session2 「手術」

14:50-15:31

座長 : 住友 誠 (愛知医科大学 泌尿器科)

P-7 ロボット支援腎部分切除術におけるenucleationの周術期成績の検討 高木 敏男 (東京女子医科大学 泌尿器科)

P-8 当院におけるロボット支援腎部分切除術 (RAPN) の初期成績

武内 在雄 (九州大学 泌尿器科)

P-9 当院におけるロボット支援腎部分切除術の初期経験

柳原 豊 (愛媛大学 泌尿器科)

P-10 ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術 (RAPN) の初期経験

板谷 直 (杏林大学 泌尿器科)

P-11 無阻血無縫合腎部分切除後に仮性動脈瘤は発生するか: 術後早期造影CTを用いた検討

田中 一 (東京医科歯科大学 泌尿器科)

P-12 腎部分切除症例において術後心血管疾患の動向を考える

別納 弘法 (獨協医科大学 泌尿器科)

Poster Session3 「分子標的薬」

14:50-15:31

座長：高橋 正幸（徳島大学 泌尿器科）

- P-13 当院における分子標的薬1stline治療時の最大治療効果がPD症例の検討
竹下 暢重（千葉県がんセンター 泌尿器科）
- P-14 一次TKI治療抵抗性転移性腎癌に対する二次治療後の予後予測として一次治療による無増悪期間は重要な因子である
石原 弘喜（東京女子医科大学 泌尿器科）
- P-15 分子標的薬時代の転移性腎癌における一次転移臓器別の予後解析
井上 高光（秋田大学 泌尿器科）
- P-16 転移性腎細胞癌に対するTKI2剤使用後の3次治療の検討
佐塚 智和（千葉大学 泌尿器科）
- P-17 Axitinibにより末期腎不全に至った2症例
山名 一寿（新潟大学 泌尿器科）
- P-18 高度肝障害を有する腎癌患者に対するアキシチニブの治療経験
田中 建（筑波大学 泌尿器科）

Poster Session4 「免疫チェックポイント阻害薬など」

14:50-15:31

座長：北村 寛（富山大学 泌尿器科）

- P-19 転移性腎細胞癌に対するニボルマブの初期治療経験
廣部 恵美（札幌医科大学 泌尿器科）
- P-20 転移性腎細胞癌に対するnivolumabの初期経験
大庭 康司郎（長崎大学 泌尿器科）
- P-21 Poor riskの転移性腎細胞癌に対しNivolumabが著効中の1例
五十嵐 大樹（岩手医科大学 泌尿器科）
- P-22 転移性腎細胞癌患者の血中循環腫瘍細胞におけるPD-L1発現の解析
永田 政義（順天堂大学 泌尿器科）
- P-23 進行腎細胞がん患者におけるS-1の使用経験
大澤 崇宏（北海道大学 泌尿器科）
- P-24 Sleeping Beauty transposon mutagenesisによるマウス腎癌関連ゲノム変異の解析
馬場 理也（熊本大学 国際先端医学研究機構）

Poster Session5 「症例報告」

14:50-15:31

座長：深沢 賢（千葉県がんセンター 泌尿器科）

- P-25 若年男性に発症した腎Ewing肉腫の1例
村上 雅哉（東京慈恵会医科大学 泌尿器科）
- P-26 Renal capsular fibroblastomaの1例
内藤 宏仁（香川大学 泌尿器科）
- P-27 肺・傍大動脈リンパ節転移に対する分子標的治療に加え、腹壁転移に対する外科的追加切除で長期生存が得られた転座型腎癌の1例
高橋 和宏（東京慈恵会医科大学 泌尿器科）
- P-28 単腎に発生した腎静脈分枝内腫瘍血栓を伴う左腎癌と多発肺転移に対し腎部分切除および腎全摘除術を施行した1例
河村 一樹（防衛医科大学校 泌尿器科）
- P-29 腎癌骨転移に対し放射線照射を施行した血液透析施行症例
杉山 貴之（浜松医科大学 泌尿器科）
- P-30 Xp11転座型腎癌と診断された2症例のレトロスペクティブな解析
元島 崇信（熊本大学 泌尿器科）

基調講演

15:50-16:20

座長：江藤 正俊（九州大学 泌尿器科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

- K-1 免疫チェックポイント阻害剤の開発状況と今後の課題
北野 滋久（国立がん研究センター中央病院 先端医療科）

Symposium 「免疫チェックポイント阻害剤の実臨床における経験」

16:20-17:00

座長：江藤 正俊（九州大学 泌尿器科）、北野 滋久（国立がん研究センター中央病院 先端医療科）

- S-1 九州大学病院泌尿器科における腎癌に対してのニボルマブ治療の初期経験
出嶋 卓（九州大学 泌尿器科）
- S-2 進行性腎癌に対するニボルマブの使用経験
本郷 文弥（京都府立医科大学 泌尿器科）
- S-3 千葉県がんセンターにおける転移性腎癌に対するニボルマブの初期使用経験
深沢 賢（千葉県がんセンター 泌尿器科）
- S-4 転移性腎細胞癌に対しnivolumab投与後14日で急激に出現した呼吸不全の1例
小針 悠希（東京女子医科大学東医療センター 泌尿器科）